

ふるさと応援団木島平会会報

第8回総会・交流会が盛大に開催!!

6月6日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で第8回ふるさと応援団木島平会の総会・交流会が行われました。当日は、会員42人と村関係者31人の総勢73人が出席し、村の話題や近況などを語りながら交流を深めました。交流会の席で芳川村長は「今年3月に木島平にトキが飛来し、新聞やテレビでも報道され、村中が大騒ぎとなりました。これは村で進めている有機の里づくりによってトキの餌となるドジョウが豊富にいる証。トキを通じて村が有名になりました。しかし、木島平村がさらに発展するためにはふるさと応援団の皆様の大いなる力が必要であり、今後も村のためにご協力をお願いします。」と述べました。また、50年ぶりに再会したとの声もあり、会場内はなつかしい雰囲気になりました。名残惜しい中、来年の再会を約束して閉会となりました。



▲交流会では、ふるさと木島平の近況や思い出に大いに盛り上がりました。

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

平沢区

地区のテーマ 豊かな自然、ゆとりと安心
(将来像) 活き活き平沢

平沢区は馬曲より志久見に通じる主要路であり、木曾義仲が通ったと伝承があります。区の東南の山頂には城跡があり、昔より区民、子どもたちで毎年手入れをし、伝承をしています。村上には湧水が2か所あり、村の水源も利用されています。

区では魚の棲める川づくりを計画、村の協力を得て工事をしました。今では岩魚がこの川で孵化しているようです。道珍坂まで流れ、最後に道珍の滝に流れ落ち、小さな公園になるように、また「わが村は美しく運動」で花を植え、休めるようにベンチ等を作って手入れをしています。

そのほか、区の親睦マレットゴルフ大会と秋には収穫祭で各グループの発表や、隣組ごとに踊りや寸劇を出し合い楽しい一時を過ごします。

区のテーマは「豊かな自然、ゆとりと安心、活き活き平沢」です。困難や悩みが多い昨今ですが、区民みんなの熱意で住みよい平沢区をつくりたいと思っています。



▲道珍の滝

カヤの平も山開き!!もつすぐ夏本番を迎えます

「日本一美しいブナの原生林」と「高山植物の宝庫」として知られている『カヤの高原』は6月1日に山開きが行われ、これから本格的な夏山シーズンを迎えます。夏の高原は見どころいっぱいですが、是非お出かけください。



▲ブナの原生林

【春】残雪の中、ブナや木々の芽吹きが冬の眠りから目を覚まし、水芭蕉やリュウキンカの花が彩りを添えます。

【夏】ニッコウキスゲが北ドブ湿原を埋め尽くし、鮮やかなやまぶき色のじゅうたんを広げたような光景が広がります。

【秋】ブナや白樺、そしてカエデ類の見事な紅葉の風景が見られ、とても神秘的です。



▲ニッコウキスゲ

